

2020年度 自治体学会事業計画（案）

I 自治体学会大会 on the WEBの開催

第34回大会は、熊本県熊本市での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、地元関係者の意向もふまえて、慎重に協議・検討した結果、WEBを活用して開催する。企画実施は、企画部会が行う。

期 日：10月10日（土）

内 容：基調講演、シンポジウム1、シンポジウム2、自治体学会賞発表、総会報告

II 総会・評議員会・理事会・各部会等の開催

1 総会の開催

大会にあわせて、総会を開催する。2020年度の総会は、書面による会議とする。

2 評議員会・理事会等の開催

理事会及び評議員会を適宜開催する。大会時に開催している評議員会は、書面による会議とする。

学会事業実施のため、企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会、総務部会、学会賞委員会、役員推薦委員会等を適宜開催する。

III 事業の実施

1 学会誌の発行

当初、学会誌「自治体学」は、大会が10月開催のため、34-1号、34-2号の合併を予定していたが、大会がWEBによる開催となり、会員の交流の場が少なくなるので、その場を広げるため、通常通り2回発行し、会員全員に配布するとともに関係機関に配布する。

学会誌の編集は、編集部会が行う。

2 学会賞の授与

田村明まちづくり賞及び研究論文賞の募集を行い、優れた者を表彰する。あわせて、自治体学研究奨励賞も表彰する。選考は、学会賞委員会が行う。

3 研究活動への支援

会員から、研究論文及び研究ノートを募集し、投稿論文等について、査読員による査読結果をもとに、研究支援部会が、学会誌に掲載する研究論文、研究ノートを決定する。会員の研究成果を広く知ってもらうため、学会誌に掲載した研究論文・研究ノ

ートを「J-STAGE」に掲載することを進める。

4 学会の活性化を目指した事業の実施

自治体学会講演会等を地域支援部会が中心となって検討・実施する。

学会賞を受賞した“まちづくり活動”について、そのまちづくりを担う市民と連携し、現地を訪問し“まちづくり活動”を学ぶ事業を検討する。

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した活動を検討する。

5 情報の提供、会員の交流促進

ホームページによる情報提供、メーリングリスト、会員名簿等を活用し、会員相互の交流に努める。なお、メーリングリストのサービスを契約している会社より、2021年6月30日でサービスを廃止されることから、代替え手段を検討する。

6 まちづくり活動への支援

(1) 地域活動の支援

会員が主体となって実施する地域活動のうちフォーラム等の開催及びその報告書の作成を支援する。

(2) 自治体学会の設立趣旨に適合する事業の名義後援

IV 運営

1 学会ガバナンスの確立

機能的・合理的・行動的でコンパクトな学会運営を行う。

安定的な学会活動のために、学会運営課題への対応を図るとともに中期事業計画の策定を検討する。また、各部会で事業の見直しを行う。

2 事務局の運営

総務部会は、事務局を補助する。

事務所について、貸主側との契約終了に伴い、移転する。

3 オンラインの活用の検討と実施

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した会議等を進める。